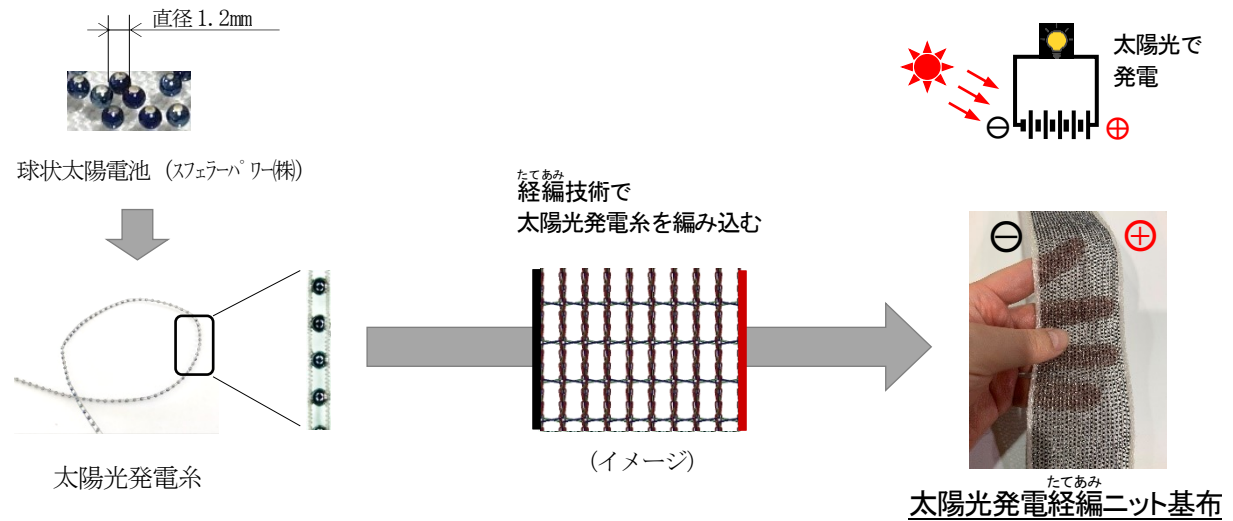
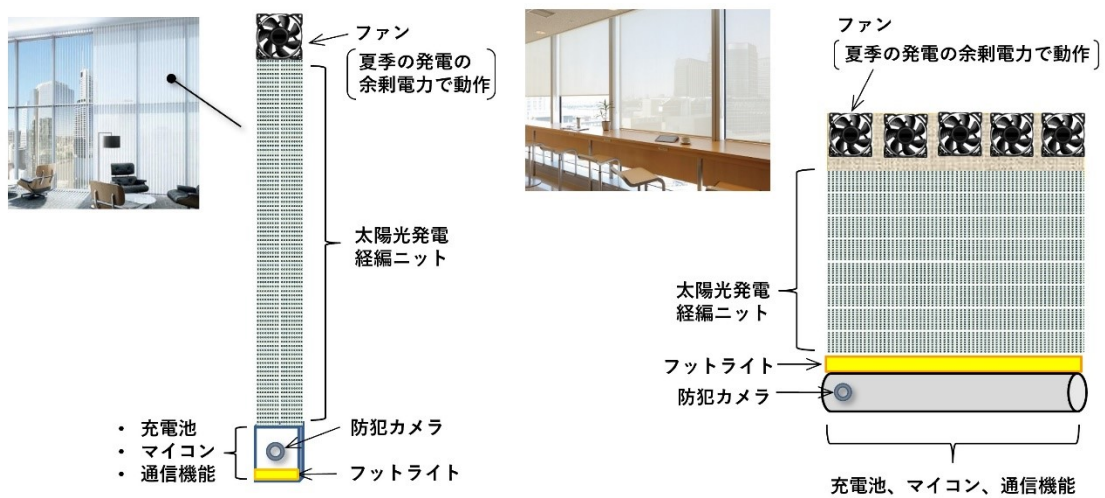


参考資料：太陽光発電^{たてあみ}経編ニット基布

「太陽光発電^{たてあみ}経編ニット基布」は、太陽光で発電する糸（直径約 1.2mm の球状太陽電池（スフェラーパワー^{たてあみ}（株）製「スフェラー[®]」）を搭載した特殊な糸）をレースカーテンの製造と同様の^{たてあみ}経編技術[※]を用いて編み込む方法にて開発しました。黒くて硬い一般的な太陽光パネルとは異なり、光にかざすと透けており、柔らかく折り曲げることも可能です。また、1m 以上の長尺の太陽光発電布を作ることができ、これをつなげて面積を広げていくことで、発電量を増やすことができます。



発電した電力は、電子・情報技術や IoT（モノのインターネット）と組み合わせることにより、例えば、夜間の照明や防犯・見守り機能があるスマートインテリアなどへの展開を目指しています。



自己発電・自己消費型の太陽光発電スマートインテリアの構想図

参考資料：用語の説明

※ ^{たてあみ}経編技術

たて方向に連続的にループを編み上げて編地を製造する技術。レースカーテン、ネット、スポーツウェア、クッション材など、幅広い分野の繊維製品に使われている。

